

研究結果報告書

研究結果

本研究（テーマ：日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロール - ベトナムの図書館への教訓）は、2010年3月より研究をスタートし、研究成果の一部は、2010年10月発刊の北東アジア研究雑誌10号（116）に発表された。この研究成果の中で述べているとおり、日本研究に携わるベトナム人研究者、特に日本の図書館分野に係わるベトナム人研究者達は、日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロールについての知識があり、その管理方法についても比較的容易に理解できるであろう。この日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロールは、世界的にも素晴らしい管理方法であり、この管理方法を利用すれば、より便利でより一層効果が上がることになる。

本研究遂行の過程を通じて、ベトナム各地の図書館が現在行なっている管理方法では多くの限界・問題点があることが分かった。こうしたいくつかの限界や問題点を解決するために、本研究を通じて、日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロールの優位点やメリットを強調し、ベトナム各地の図書館に対し、この管理方法の導入を提言してきた。本研究調査の遂行のため、ベトナム各地の図書館、具体的には、ハノイの各大学・研究所、ダナンの大学、フエの大学、ホーチミン市の各大学・研究所の図書館等を訪問し、調査を行なった。その時、それぞれの図書館の責任者や図書館司書らと種々意見交換を行ない、日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロールを紹介し、この管理方法の優位点を説明したりしてきた。ある図書館では、実験的にこの管理方法を導入したところ、コンピュータやネットワークを利用することによって、大量のデジタル化資料にアクセスすることが出来、それまで懸案となっていた諸問題をいくつか解決することができたと云う結果が出た。

以上の研究結果に基づき、日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロールをベースに、ベトナムの図書館事情を勘案した新たな管理方法を構築し、北東アジア研究院・日本研究センターの図書館に導入することが計画されている。更に、ベトナム各地の他の図書館への導入も可能となる。こうした新しい管理方法が構築され、ベトナム各地の図書館で導入されれば、ベトナム人の日本理解あるいは日本語書籍/資料への理解にも大いに役立つであろう。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロール
- ベトナムの図書館への教訓 - 」

TRAN THI HOANG MAI、東北アジア研究雑誌 10号(116)2010年10月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)